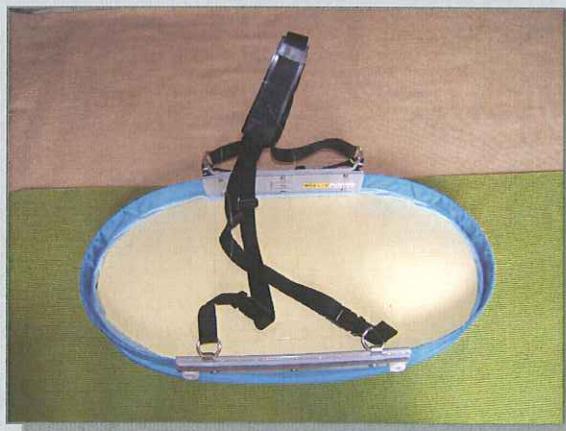
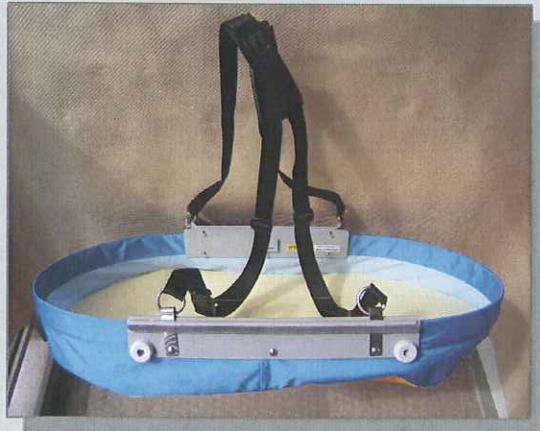


ガラキヤッヂ

軒裏作業のように、直接碎り破片をキャッチする作業の場合はバーを取り付ける。
碎り破材の重みで、枠が狭まらないように押し開く。



2008.9.21撮影



押し棒は袋の下の鞘部に
収納する。 破材の重量
を下支えをする。



中の敷物を取れば、枠を
小さく狭めることも、押
して狭めることも可能で
す。

有限会社 ピルケアサイコウ